

令和6年度 決算概要

皆さんに納めていただいた税金や国から配分された地方交付税などの収入によって市が行った事業と、財政状況の概要をお知らせします。
【詳細】 財政課 ☎ 381-11010

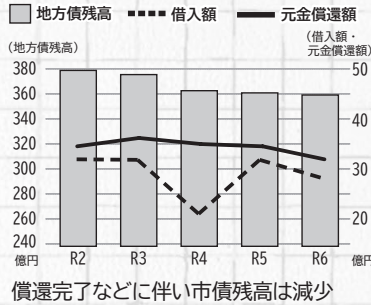
一般会計の収支の概要

形式収支（歳入歳出の差引）は15億462万円の黒字、実質収支（形式収支から翌年度繰越財源を差引）は13億8207万円の黒字になりました。歳入歳出の詳細は以下の表を参照ください。

地方債

令和6年度末の地方債残高は356億9798万円で、前年度と比較すると0.9%減少しました。

市債残高の推移（一般会計）



健全化判断比率

江別市の健全化判断比率

一般会計

歳入

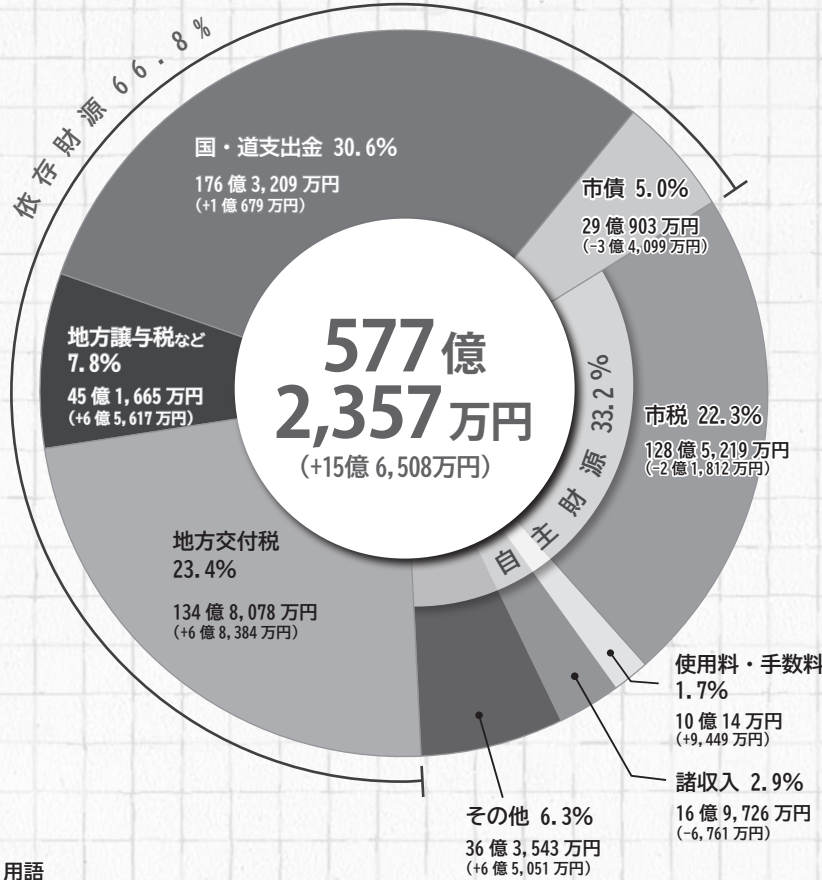
()内は前年度との比較

決算額は前年度に比べて2.8%の増額となりました。

地域の特性を生かしたまちづくり、自主的な自治体経営を進めていくためには、財政基盤の安定性や財政の健全性の確保が不可欠です。引き続き市税の収納率向上や産業の振興を図り、自主財源の充実、確保に努めます。

また、令和6年度はふるさと納税2億6,930万円をはじめ、個人、団体合わせて2億9,009万円の寄附金がありました。右図では【その他】に分類されています。

寄附金は、環境・福祉・教育事業など、寄附の意図に沿って活用しています。



用語

【市税】 市民税、固定資産税、都市計画税など 【使用料・手数料】 公共施設の使用料、住民票発行・ごみ処理手数料など 【諸収入】 貸付金の返済金や宝くじの交付金など 【その他】 基金の取り崩し、前年度繰越金、寄附金など 【地方交付税】 一定水準の行政サービスを行うために国から配分される交付金 【地方譲与税など】 国が徴収した特定の税のうち、一定の基準で地方に配分されるものなど 【国・道支出金】 道路などの社会資本整備や障害者自立支援給付など、特定の事業に対する国・道からの負担金・補助金など 【市債】 施設や道路建設などに関する借入金

一時借入金

会計名	借入額	限度額
一般	0円	100億円
水道	0円	1億円
下水道	0円	6億円
病院	15.5億円	30億円

地方債

会計名	残高
一般	340億6,182万円
水道	19億49万円
下水道	85億7,282万円
病院	40億7,193万円
合計	486億706万円

市有財産

区分	数量	市民1人当たり
土地	555万 516㎡	47.09㎡
建物	36万1,650㎡	3.07㎡
各種基金 (現金等)	104億 95万円	8万8,240円
各種基金 (土地)	13万 396㎡	1.11㎡
債権 有価証券 出資金	9億5,996万円	8,144円
車両	120台	—

令和7年10月1日
現在の人口 117,871人

特別会計

歳入

国民健康保険	120億6,738万円
後期高齢者医療	21億6,327万円
介護保険	113億4,596万円
基本財産基金運用	1億9,214万円

歳出

国民健康保険	120億471万円
後期高齢者医療	21億5,375万円
介護保険	111億6,696万円
基本財産基金運用	1億9,214万円

差引収支額

国民健康保険	6,267万円
後期高齢者医療	952万円
介護保険	1億7,900万円
基本財産基金運用	0万円

都市計画税の使途

都市計画税（10億1,842万円）	
公園事業 2億6,725万円	公園管理事業など
下水道事業 7億4,916万円	雨水処理等負担など（下水道事業会計繰出金）
土地区画整理事業 201万円	土地区画整理事業など

企業会計

水道・下水道事業会計決算は12-13ページ、市立病院会計決算は、広報えべつ10月号2ページを参照ください。

健全化判断比率

指標	健全化判断比率	※1	※2
実質赤字比率	該当なし	11.89%	20%
連結実質赤字比率	該当なし	16.89%	30%
実質公債費比率	4.4%	25%	35%
将来負担比率	該当なし	350%	

※1 早期健全化基準（黄信号）※2 財政再生基準（赤信号）
を超える指標はありませんでした

一般会計

歳出

（ ）内は前年度との比較

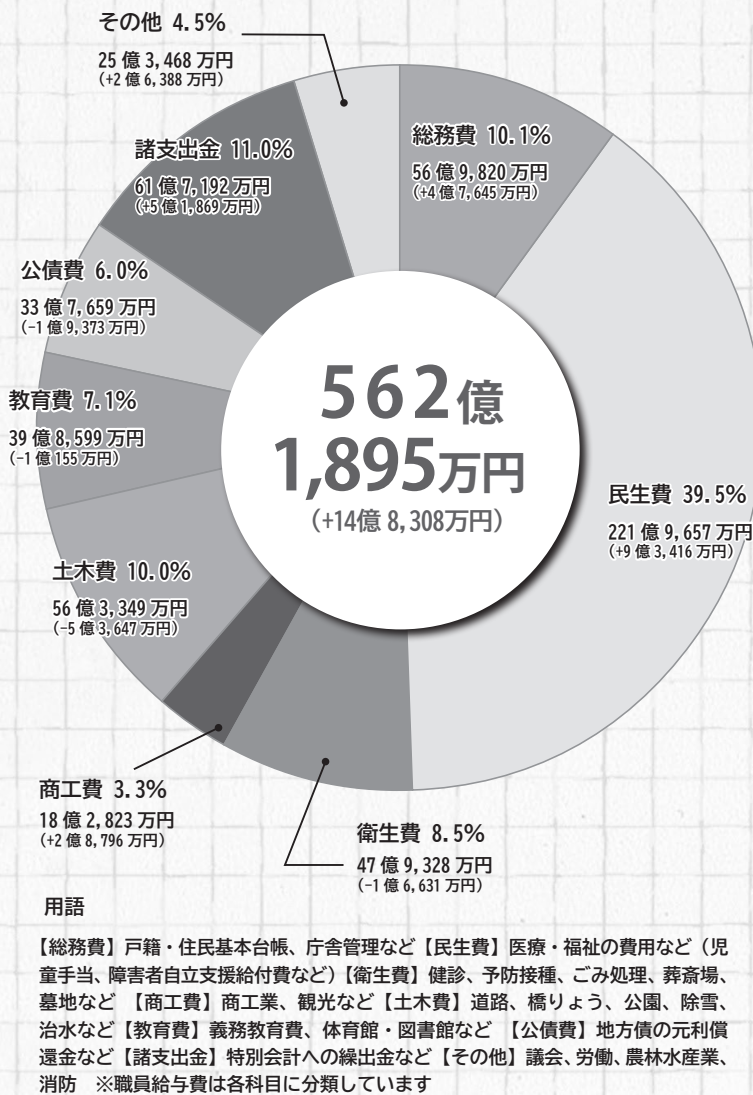
決算額は前年度に比べ2.7%の増額となりました。

民生費は、教育保育施設給付をはじめとした扶助費の増加のほか、物価高騰対策を目的とした臨時的な給付金などにより、前年度に比べ9億3,416万円（4.4%）増加しました。

土木費は、新栄団地建替事業の完了などにより、前年度に比べ5億3,647万円（8.7%）減少しました。

商工費は、河川とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取り組みである、かわまちづくり事業などにより、前年度に比べ2億8,796万円（18.7%）増加しました。

は、いずれも基準値をクリアしています。
前年度決算数値と比べると、実質公債費比率は、地方債の元利償還金の減少などにより、数値が改善しました。
また、実質赤字比率および連結実質赤字比率は黒字決算のため、将来負担比率は地方債残高の減少などにより将来負担額が充て可能財源などを下回ったため、指標は算定されません。



令和7年度

上半期予算 執行状況

	歳入予算額	収入済額	執行率	歳出予算額	支出済額	執行率
一般会計	620億6,189万円	256億8,201万円	41.4%	620億6,189万円	232億8,287万円	37.5%
特別会計						
国民健康保険	123億1,867万円	46億7,932万円	38.0%	123億1,867万円	48億3,408万円	39.2%
後期高齢者医療	22億5,900万円	7億8,681万円	34.8%	22億5,900万円	7億7,050万円	34.1%
介護保険	119億500万円	48億4,815万円	40.7%	119億500万円	47億9,683万円	40.3%
基本財産基金運用	3億300万円	38万円	0.1%	3億300万円	0万円	0.0%
企業会計						
水道事業	25億318万円	10億3,775万円	41.5%	24億6,790万円	8億5,389万円	34.6%
資本的収支	5億1,256万円	3,322万円	6.5%	18億9,371万円	14億2,789万円	75.4%
下水道事業	34億7,482万円	10億9,487万円	31.5%	34億7,456万円	6億2,681万円	18.0%
資本的収支	10億5,091万円	418万円	0.4%	21億9,318万円	11億5,115万円	52.5%
病院事業	70億1,869万円	43億7,957万円	62.4%	77億6,046万円	31億1,725万円	40.2%
資本的収支	4億9,906万円	7,077万円	14.2%	13億6,608万円	6億1,924万円	45.3%